



BMW Motorrad



追加 Rider's Manual

R 1200 GS Rallye

モーターサイクル / ディーラーのデータ

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号シャリ ヨウシキベツバンゴウ

カラー

セットアップ

フォークブリッジの番号

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

TEL

ディーラー所在地 / 電話 (スタンプ)

BMW へようこそ

BMW Motorrad のR 1200 GS を購入されるにあたり、スタイルバリエーションRallye を選択頂き誠にありがとうございます。BMW ライダーの一員となられたことを、心より歓迎いたします。新しいモーターサイクルをよく理解して、安全に走行してください。

この装備範囲に関して

新しくご購入されたBMW をご使用になる前に、本 Rider's Manual をお読みください。本書には、BMW 車両のスタイルバリエーションRallye の技術的な長所を十分に生かし操作するための重要な注意事項が記載されています。

また、ライダーの安全や交通安全性を確保し、車両の価値を永久に維持するためのメンテナンスと手入れに関する情報が記載されています。

保証期間終了後に好意での無償修理を受けるには、それまでに実施されたメンテナンス作業の証明が必要条件になります。

将来、もしご使用のBMW を売却される場合には、Rider's Manual も添えてくださいますようお願いいたします。同書は車両にとって、重要な構成要素の一つです。

ご意見およびご質問

車両に関するあらゆるご質問は、解決策と作業を熟知したBMW Motorrad ディーラーにいつでもお問い合わせください。

BMW 車両と共に安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad

01 40 8 403 408



目次

1 一般的な情報	3	6 メインテナンス	29	シリンダーヘッドカバー	
全体図	4	一般的な情報	30	ガード	44
記号と意味	4	サービスツールキット	30	調整式ライダー用フットレ	
装備	5	リヤホイールスタンド	30	スト	44
テクニカルデータ	5	タイヤ	31	調整式ブレーキペダル	44
本書の記述について	5	ホイールリム	32	スポーツマフラー	45
2 全体図	7	オフロード走行後のメンテ		スパイクタイヤ	45
全体像	9	ナンス作業	33	ナビゲーションシステム用	
3 はじめに	11	7 アクセサリー	37	取付けキット	45
スタイルバリエーショ		一般的な情報	38	ケースシステム	46
ンRallye	12	スタイルバリエーショ		8 テクニカルデータ	47
4 取扱方法	13	ンRallye のアクセサリ	38	フレーム	48
Rallye シート	14	スタイルバリエーション		シャシー	49
ウインドシールド	16	Rallye のアクセサリ	41	ホイールとタイヤ	51
スポーツスプリング	16	LED ウィンカー	42	寸法	52
5 オフロード走行	17	ヘッドライトガード	42	9 索引	55
仕様変更	18	ハンドルレバー (フライス加			
走行	22	工)	42		
清掃	25	ハンドプロテクター	43		
		エンジンプロテクション			
		バー	43		
		Enduro エンジンアンダー			
		ガード	43		

一般的な情報

全体図	4
記号と意味	4
装備	5
テクニカルデータ	5
本書の記述について	5

全体図

本書は、使いやすさを重視して作成されています。特殊な項目についてお探しの際には、索引もご利用ください。まず、このモーターサイクルについての概要から知りたい場合は、第2章をご覧ください。

Rider's Manual は、モーターサイクルにとって重要な構成部品のひとつです。将来、もしご使用の BMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。

記号と意味

 **注意** リスクレベルの低い危険にさらされます。回避しないことにより、軽度または中程度の怪我や損傷に至るおそれがあります。

 **警告** リスクレベルが中程度の危険にさらされます。回避しないことにより、死亡ま

たは重傷を負ったり、重度の損傷に至るおそれがあります。

 **危険** リスクレベルの高い危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至ります。

 **重要事項** 特別な注意事項および予防処置。回避を怠ると車両や装備品の損傷を招き、保証の対象外になる可能性があります。

 **注意事項** モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。

◀ 注意事項の末尾を示します。

● 作業内容の指示を示します。

» 作業の結果を示します。

 説明のある参照ページを示します。

◁ アクセサリーや装備に関する情報の末尾を示します。

 締め付けトルク。

 仕様（諸元）。

LA 国別仕様。

OE オプション装備。
BMW Motorrad オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場
で装着されます。

OA	アクセサリ。 BMW Motorrad アクセサリのご購入および取り付けにつきましては、BMW Motorrad ディーラーにて承ります。
ABS	アンチロックブレーキシステム。
ASC	オートマチックスタビリティコントロール (ASC)。
D-ESA	電子調整式サスペンション。
DWA	盗難警報装置
EWS	電子式イモビライザー。
RDC	タイヤ空気圧コントロール

装備

BMW モーターサイクルのご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっています。本書では、BMW がご用意しているオプション (OE) および選択されたアクセサリ (OA) について説明されています。そのため、お客様のモーターサイクルには装着されていない装備に関する説明が含まれている場合がありますのでご了承ください。同様に、国別の仕様により、図示されているモーターサイクルと異なる場合があります。お客様のモーターサイクルに、本書に説明されていない装備が含まれている場合は、独立したマニュアルの中に説明が記載されています。

テクニカルデータ

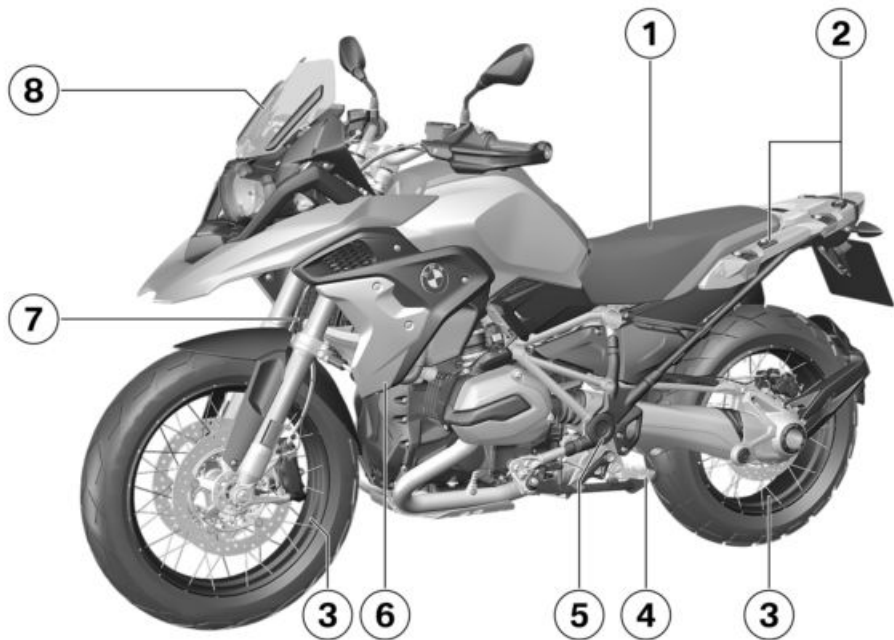
本書に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、DIN (ドイツ工業規格) およびその許容差規定に基づいて表記されています。国によって仕様が異なる場合があります。

本書の記述について

BMW Motorrad の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

全体図

全体像	9
-----------	---



全体像

- 1 Rallye シート (ロー)
(14)
- 2 シーリングキャップ (18)
- 3 クロススポークホイール (32)
- 4 Enduro フットレスト
- 5 フレームガード (15)
- 6 ステンレススチール製ラジエターカバー
- 7 ラジエター保護グリッド (25)
- 8 スポーツウインドシールド (16)

はじめに

スタイルバリエーションRallye 12

スタイルバリエーションRallye

スタイルバリエーションRallyeでは、R 1200 GS のスポーティな特徴が強調されています。外観だけをとっても、ルピンブルーメタリックの配色、タンクサイドライン上の BMW モータースポーツカラーに重ね塗られたラベル、そしてコルドバブルーにパウダーコーティングされたフレームが、このモデルが標準仕様の GS の中で史上最もスポーティなモデルであることを物語っています。

R 1200 GS Rallye の装備は、一貫してオフロードパフォーマンスの向上を目指した仕様になっています。

スタイルバリエーションRallye の構成要素：

- **Rallye シート**：人間工学に最適に即した形状であるため、極めて動きやすく、快適性も良好。場合によってはタンデムも可能。
- **スポーツウインドシールド**：低くなっているため、走行しにくいオフロードで前方への視界が開かれ、スタンディング走行の際に自由に動くことが可能。
- **ラジエターカバー**：堅牢なステンレススチール製。
- **ラジエター保護グリッド**：前方走行車両に接近した際に飛石から保護。
- **Enduro フットレスト**：安定した足場を提供するワイドバージョン。
- **クロススポークホイール**：要望に応じてスパイクタイヤ装備可能。

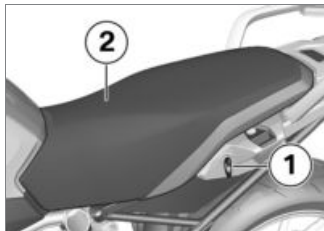
- 付属の**フレームガード**：ブーツの激しい使用からフレームを保護。
- 付属の**シーリングキャップ**：ラゲッジラックを取り外した際に、リヤをスポーティでスリムな姿に。

取扱方法

Rallye シート	14
ウインドシールド	16
スポーツスプリング	16

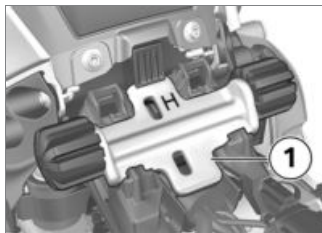
Rallye シート

Rallye シートを取り外す

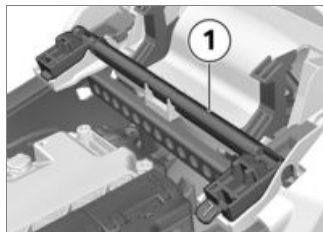


- シートロック **1** を車両キーを時計回りに回してロック解除し、車両キーを保持します。
- シート **2** の後部を持ち上げ、車両キーから手を放します。
- シートを取り外し、シートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

高さ調整に注意する

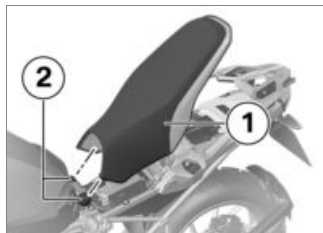


- 前方の高さ調整 **1** は、常に高い位置 (識別ラベル H) に調整する必要があります。



- 後方の高さ調整 **1** は、常に低い位置 (識別ラベル L) に調整する必要があります。

Rallye シートを取り付ける



- Rallye シート **1** を左右のホルダー **2** に装着してから、ロッ

クが噛み合う音が聞こえるまで後部領域を前下に向かって押します。



注意事項

オプション装備「コンフォートパッケージ」でのシートの取り外しおよび取り付けについては、モーターサイクルの Rider's Manual を参照。◀

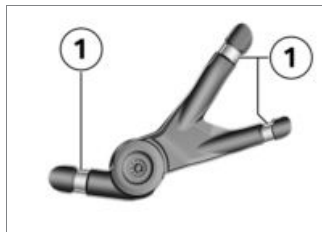
フレームガードを取り付ける

前提条件

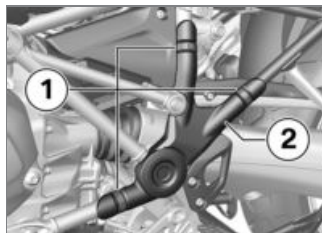
車両の受け渡しの際にフレームガードが取り付けられていないこと。

前提条件

接着箇所が乾燥しており、粉塵およびグリースが付着していないこと。



- 帯状のフォーム材 **1** の内側から保護フィルムを抜き取ります。



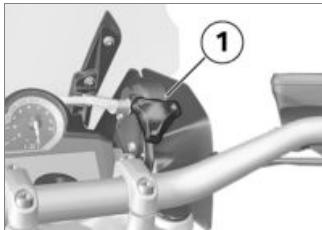
- フレームガード **2** を組み込み、接着箇所を押し付けます。
- ラバーベルト **1** を取り付けます。ラバーベルトがブーツの

使用によって開いてしまうことを防ぐために、閉める箇所をフレームの内側に位置決めします。

- フレームガードを反対側で同じ方法で取り付けます。

ウインドシールド

ウインドシールドを調整する



警告

走行中のウインドシールドの調整。

転倒の危険

- ウインドシールドの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀
- アジャストノブ **1** を時計回りに回して、ウインドシールドを下げます。

- アジャストノブ **1** を反時計回りに回して、ウインドシールドを上げます。

Rider's Manual に記載されていません。◀

スポーツスプリング

ー スポーツスプリングOE 装備

スポーツサスペンションではシャシーアライメントの最適化により、敏捷さ、ハンドリング性およびオフロードでの限界性能が向上します。スプリングを硬くし、スプリングストラットとスプリングストロークを長くすることで、オフロードでのパフォーマンス向上が可能になります。



追加スプリングストローク

20 mm



注意事項

スポーツサスペンションの設定方法は標準フレームの場合と同様であり、モーターサイクルの

オフロード走行

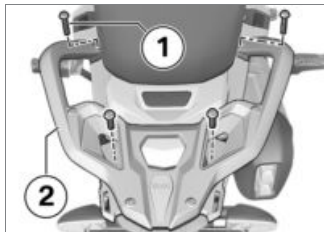
仕様変更	18
走行	22
清掃	25

仕様変更

ラゲッジラックを取り外す

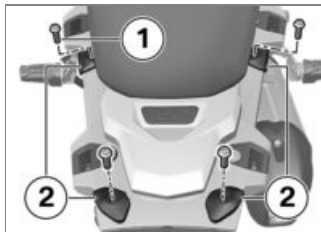
 注意事項

タンデム走行を行うには、常にパッセンジャー用フットレストとアシストグリップが取り付けられている必要があります。◀



- リヤホイールスタンドを取り付ける(➡ 30)。
- ボルト **1** を取り外し、ラゲッジラック **2** を取り外します。

ラゲッジラックのカバーを取り付ける



- リヤホイールスタンドを取り付ける(➡ 30)。
- ラゲッジラックのカバー **2** を組み込みます。
- ボルト **1** を取り付けます。



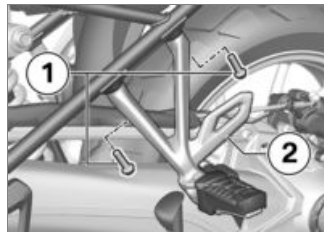
アシストグリップボア
用カバーパネルとリヤフ
レーム

8 Nm

パッセンジャー用フットレストホルダーを取り外す

 注意事項

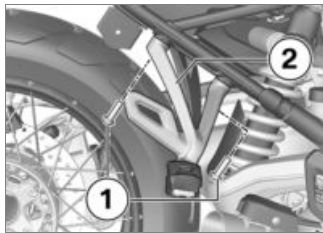
タンデム走行を行うには、常にパッセンジャー用フットレストとアシストグリップが取り付けられている必要があります。◀



- リヤホイールスタンドを取り付ける(➡ 30)。
- ボルト **1** を取り外し、左パッセンジャー用フットレストホルダー **2** を取り外します。
- 右パッセンジャー用フットレストホルダーを取り外すには、

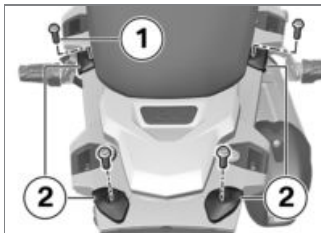
その前にマフラーを取り外す必要があります。

- マフラーを取り外す(➡ 20)。



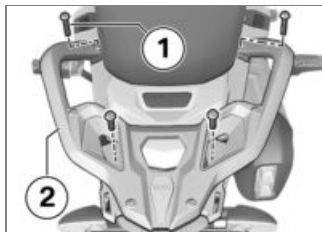
- ボルト **1** を取り外し、右パッセンジャー用フットレストホルダー **2** を取り外します。
- マフラーを取り付ける(➡ 21)。

ラゲッジラックのカバーを取り外す



- リヤホイールスタンドを取り付ける(➡ 30)。
- ボルト **1** を取り外します。
- ラゲッジラックのカバー **2** を取り外します。

ラゲッジラックを取り付ける



- リヤホイールスタンドを取り付ける(➡ 30)。
- ネジ山を清掃する。
- ラゲッジラック **1** を組み込みます。
- **新しいマイクロカプセル** ボルト **1** を取り付けます。

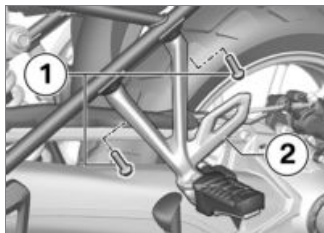


ラゲッジラックとリヤフ
レーム

ボルト固定剤: マイクロカプセル加工済

19 Nm

パッセンジャー用フットレストホルダーを取り付ける



- リヤホイールスタンドを取り付ける(➡ 30)。
- ネジ山を清掃する。
- 左パッセンジャー用フットレストホルダー **2** を組み込み、**新しいマイクロカプセルボルト 1** を使用して取り付けます。

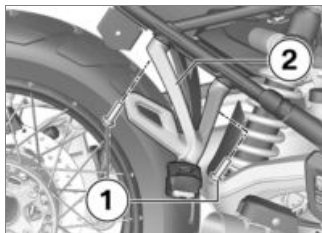


リヤフレームのフットレストホルダー

ボルト固定剤: マイクロカプセル加工済

38 Nm

- 右パッセンジャー用フットレストホルダーを取り付けるには、その前にマフラーを取り外す必要があります。
- マフラーを取り外す(➡ 20)。



- ネジ山を清掃する。
- 右パッセンジャー用フットレストホルダー **2** を組み込み、**新しいマイクロカプセルボルト**

1 を使用して取り付けます。



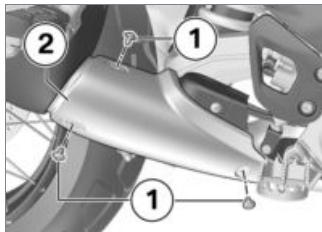
リヤフレームのフットレストホルダー

ボルト固定剤: マイクロカプセル加工済

38 Nm

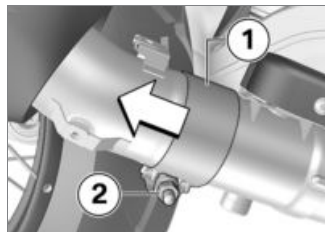
- マフラーを取り付ける(➡ 21)。

マフラーを取り外す

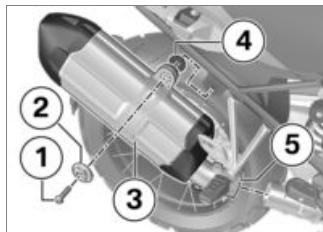


- リヤホイールスタンドを取り付ける(➡ 30)。
- ボルト **1** を取り外します。

- マフラーカバー **2** を取り外します。

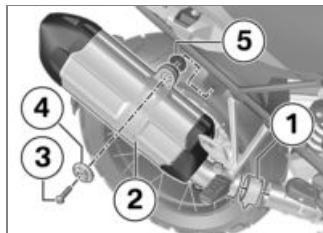


- ナット **1** を緩め、クランプ **2** を後に向かってスライドさせます。



- ボルト **1** とワッシャー **2** を取り外します。
- マフラー **3** を擦れ防止ワッシャー **4** およびクランプ **5** と共に取り外します。

マフラーを取り付ける



- リヤホイールスタンドを取り付ける(➡ 30)。
- クランプ **1** の内側を薄く潤滑し、マフラーに押し込みます。
- マフラー **2** の内径を薄く潤滑し、ストップ位置まで押し込みます。



潤滑剤

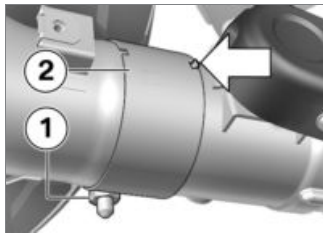
銅ペースト

- ボルト **3** をワッシャー **4** および擦れ防止ワッシャー **5** と共に取り付けます。



マフラーとリアフレーム

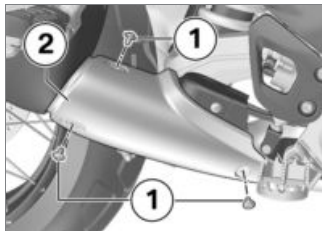
19 Nm



- クランプ **1** の切り欠き部に
ノーズ **矢印** に合わせて位置決
めします。
- ナット **2** を締め付けます。

クランプとマフラーおよ
びエキゾーストマニホー
ルド

22 Nm



- カバー **2** を組み込み、ボル
ト **1** を取り付けます。

カバーとマフラー /エキ
ゾーストマニホールド

締め付け順序: 1. エキゾース
トマニホールド、2. マフラー
上部、3. マフラー下部

5 Nm

走行

スパイクタイヤによる走行

オフロード走行用に、
R 1200 GS にスパイクタイヤを
装備することができます。



注意事項

オフロードでスパイクタイヤを
装備して走行する際には、タイ
ヤ充填圧をそれに合わせて調整
することができます。◀

ボードコンピューターからのエ
ラーメッセージを防止するため
に、タイヤ充填圧が変化した場
合にはRDC をオフにすることを
お勧めします。

スパイクタイヤまたは冬タイヤを装着している場合の最高速度



危険

モーターサイクルの最高速度が、
タイヤの許容最高速度を上回っ
ている

高速すぎる場合、タイヤの損傷
による事故の危険

- タイヤの許容最高速度を遵守してください。◀

スパイクタイヤまたは冬タイヤ
を装着している場合には、これ
らのタイヤの許容最高速度を確
認し、遵守してください。
許容最高速度を記したステッカー
を、メーターパネルの見える位
置に貼ってください。

RDC をオフロードモードで OFF にする

ー 走行モードPro^{OE}装備

前提条件

チャージ圧を低減させたオフロー
ド走行をする必要があります。

前提条件

RDC 警告をオフにするために、
両方の走行モードENDURO また
はENDURO PRO のいずれかが設
定された。



注意事項

オプション装備品 Connectivity が
取り付けられている場合、メ
ニューガイドはモーターサイク
ルの Rider's Manual に記載され
ています。◀

- イグニッションを ON にしま
す。



- ボタン **1** を、上側ディスプレ
イ行 **2** にSETUP ENTER が表
示されるまで、繰り返し短押し
します。
- ボタン **1** を長く操作して、
SETUP メニューをスタートさ
せます。



- ボタン **1** を短時間操作し、メニューオプションRDCを選択します。
- » 上側ディスプレイ欄 **2** にRDCと表示されます。
- » 下側ディスプレイ行 **3** に設定した値が表示されます。
- ボタン **4** を短時間操作し、設定した値を変更します。
- » RDC Enduro に以下の設定が可能です：

ON: RDC 用ディスプレイ警告マークが表示されなくなります。許容範囲外にあるチャージ圧だけが表示されます。



OFF: RDC 用ディスプレイ警告マークが表示され、さらに、許容範囲外にあるチャージ圧が表示されます。

オフロード走行後

BMW Motorrad はオフロード走行後に以下の点に注意することをお勧めします：

タイヤ充填圧



警告

オフロード走行用にタイヤ空気圧を下げている状態における舗装道路での走行。

走行特性の悪化により、事故に至る危険。

- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀

タイヤ充填圧を点検する (▶▶▶ 31)

ブレーキ



警告

平坦でない、または汚れた道路での走行。

汚れているブレーキディスクおよびブレーキパッドによるブレーキの効きの遅れ。

- ブレーキ操作を行ううちに、付着している汚れがとれるまでは、早めにブレーキングしてください。◀



重要事項

未舗装または汚れた道路での走行
ブレーキパッド摩耗の助長

- ブレーキパッドの厚さを頻繁に点検し、ブレーキパッドを早目に交換してください。◀

スプリングプリロードおよび ショックアブソーバー



警告

オフロード走行用にスプリング
プリロードおよびスプリングス
トラットダンピングについて変
更された値。

舗装道路での走行特性の悪化。

- オフロードでの走行を終えたら、スプリングプリロードならびにスプリングストラットダンピングを正しく調整してください。◀

ホイールリム

BMW Motorrad は、オフロード走行後に、ホイールリムが損傷していないか点検することをお勧めします。

ホイールリムを点検する (▶▶ 32)

エアフィルター



重要事項

エアフィルターエレメントの汚れ
エンジンの損傷

- 埃の多いオフロードで走行する場合には、エアクリーナーの汚れの点検を頻繁に行い、必要に応じて清掃または交換します。◀

エアフィルターを点検し、必要に応じて新品に交換する (▶▶ 34)。非常に埃の多い条件下での走行(砂漠や乾燥した草原など)においては、専用に開発されたエアフィルターの使用が必要です。

清掃

オフロード走行後の清掃

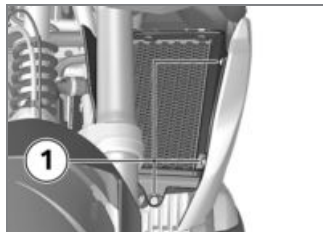


注意事項

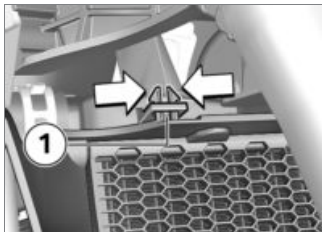
一般的な清掃方法は、モーターサイクルの Rider's Manual に記載されています。◀

R 1200 GS のスタイルバリエーション Rallye をオフロード走行後に清掃しやすくするために、下記の部品を取り外すことができます。

ラジエター保護グリッドを取り外す



- リヤホイールスタンドを取り付ける (▶▶ 30)。
- ボルト 1 を取り外します。

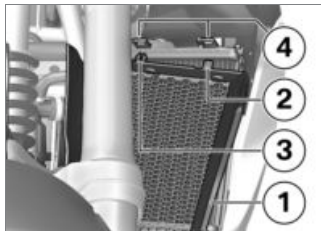


- キャッチフック **1** を押し合わせます。

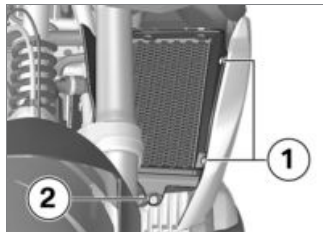


- ラジエター保護グリッド **1** を下に向かって取り外します。

ラジエター保護グリッドを取り付ける

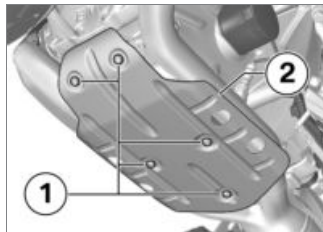


- リヤホイールスタンドを取り付ける(▶▶▶ 30)。
- ラジエター保護グリッド **1** のリテーナー **2** とキャッチフック **3** をラジエターのホルダー **4** に装着します。



- ボルト **1** を取り付けます。
- ボルト **2** を取り付けます。

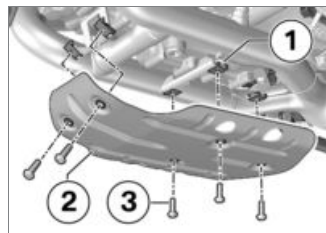
エンジンアンダーガードを取り外す



- リヤホイールスタンドを取り付ける(▶▶▶ 30)。

- ボルト **1** を取り外し、エンジンアンダーガード **2** を取り外します。

エンジンアンダーガードを取り付ける

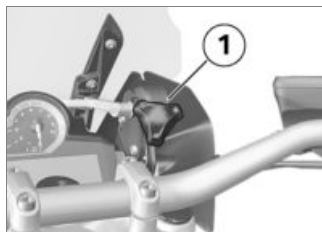


- リヤホイールスタンドを取り付ける(▶▶▶ 30)。
- 差し込みナット **1** の位置が正しいことを確認します。
- エンジンアンダーガード **2** を組み込みます。
- ボルト **3** を取り付けます。

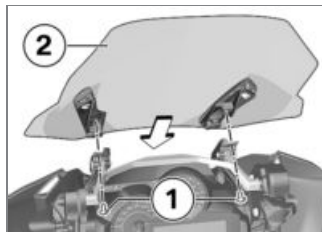
エンジンアンダーガード
とホルダー

8 Nm

ウインドシールドを取り外す

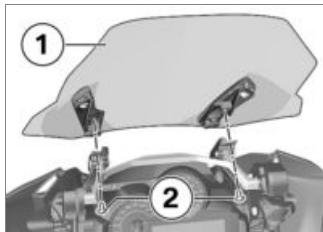


- リヤホイールスタンドを取り付ける(▶▶▶ 30)。
- アジャストノブ **1** を反時計回りに回して、ウインドシールドの高さを最大に調整します。



- ボルト **1** を取り外します。
- ウインドシールド **2** を下に向かって外して、取り外します。

ウインドシールドを取り付ける



- リヤホイールスタンドを取り付ける(▶▶▶ 30)。
- ウインドシールド **1** をセットします。
- ボルト **2** を取り付けます。



ウインドシールド調整機構のウインドシールド

4 Nm

メンテナンス

一般的な情報	30
サービスツールキット	30
リヤホイールスタンド	30
タイヤ	31
ホイールリム	32
オフロード走行後のメンテナンス作業	33

一般的な情報

「メインテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明します。

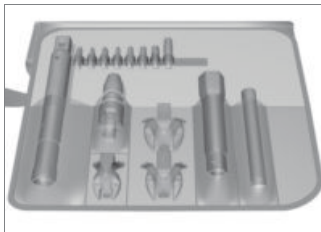
取り付けの際に専用の締め付けトルクがある場合には、規定締め付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「仕様(諸元)」の章にあります。

メインテナンスおよび修理作業に関するその他のインフォメーションは、BMW Motorrad ディーラーで DVD を入手することができます。

いくつかの作業の実施にあたっては、スペシャルツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

サービスツールキット

ー サービスツールセット^{OA} 装備

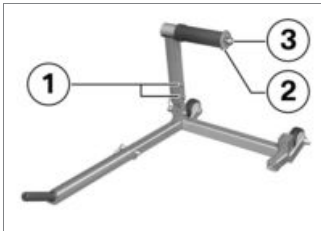


さらに行われるサービス作業(ホイールの脱着など)のために、BMW Motorrad では、あなたのモーターサイクルに対応する適切なサービスツールキットをご用意しています。このツールキットはBMW Motorrad ディーラーでお求めいただけます。

リヤホイールスタンド

リヤホイールスタンドを取り付ける

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- リヤホイールスタンドをリヤアクスルアダプターと共に使用します。リヤホイールスタンドとそのアクセサリーは、BMW Motorrad ディーラーで入手できます。



- リヤホイールスタンドを、ボルト **1** を使用して希望の高さに調整します。

- ロック解除用ボタン **3** を押して、ロックワッシャー **2** を外します。



- リヤホイールスタンドを左側からリアアクスルに押し込みます。
- ロック解除ボタンを押して、ロックワッシャーを右側から取り付けます。



重要事項

リフトアップのときに車両が左右に傾く

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両が倒れないよう、サポートする方と一緒に作業するようにしてください。◀
- モーターサイクルをまっすぐに立てると共に、スタンドのグリップを後ろへ押して、スタンドの両方のローラーが地面に着くようにします。
- 続いてグリップを地面まで押します。

タイヤ

タイヤ充填圧を点検する

警告

タイヤ充填圧が不適切

モーターサイクルの走行特性が悪化、タイヤ耐用年数の減少

- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀

警告

高速走行時に垂直に取り付けられているバルブコアが勝手に開く。

突然のタイヤ充填圧の損失。

- ラバーシール付きバルブキャップを使用し、しっかりと締め付けます。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。

- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。



タイヤ充填圧(フロント)

2.5 bar (タイヤ冷間時)



タイヤ充填圧(リヤ)

2.9 bar (タイヤ冷間時)

タイヤ充填圧が不十分な場合：

- タイヤ充填圧を調整します。

タイヤのトレッド溝の深さを点検する



警告

著しく摩耗したタイヤでの走行
走行特性の悪化により、事故に至る危険

- 必要に応じて、法的に規定されているトレッドの最小残溝量に達する前にタイヤを交換してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して点検します。



注意事項

摩耗インジケーターはタイヤごとにメインのトレッド溝に設けられています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤが完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。◀

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

ホイールリム

ホイールリムを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- ホイールリムに不良部分がないか目視点検します。
- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

スポークを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- ドライバーのグリップなどでスポークをこすり、その際の音色に注意します。

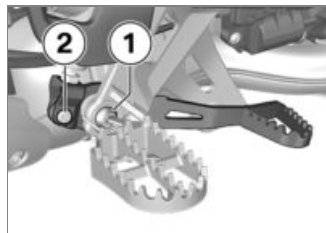
音色が不均一である場合：

- 専門の整備工場
(BMW Motorrad ディーラーが理想的) にスポークの点検を依頼してください。

オフロード走行後のメンテナンス作業

ブレーキペダルがスムーズに動くか点検する

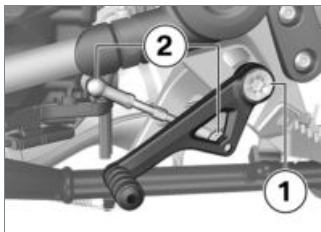
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- ペダルベアリング **1** と方向転換点 **2** がスムーズに動くか点検します。
- 固着している場合：
 - 専門の整備工場 (BMW Motorrad ディーラーが理想的) にブレーキペダルの点検を依頼してください。

シフトレバーがスムーズに動くか点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- シフトレバーベアリング **1** と方向転換点 **2** がスムーズに動くか点検します。
- 固着している場合：
 - 専門の整備工場 (BMW Motorrad ディーラーが理想的) にシフトレバーの点検を依頼してください。

サイドスタンドがスムーズに動くか点検する

- リヤホイールスタンドを取り付ける(➡ 30)。
- サイドスタンドを出し入れし、スムーズに動くか点検します。

サイドスタンドがスムーズに動かない場合：

- 専門の整備工場 (BMW Motorrad ディーラーが理想的) にサイドスタンドの点検を依頼してください。

サイドスタンドスイッチの機能点検

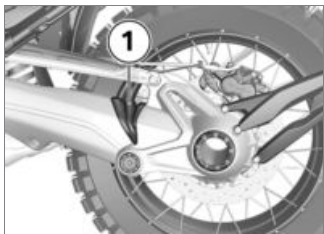
- エンジンをオフにし、サイドスタンドを展開します。
- クラッチを操作して保持し、イグニッションをオンにしてエンジンをスタートさせます。
 - » エンジンが始動します。
- ギヤを 1 速に入れます。
 - » エンジンが停止します。

エンジンが停止しない場合：

- 専門の整備工場
(BMW Motorrad ディーラーが理想的) にサイドスタンドスイッチの点検を依頼してください。

ダストカバーの点検

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- ダストカバー **1** が正しい位置にあり、亀裂がないことを点検します。

ダストカバーが外れたか、亀裂形成が見られる場合：

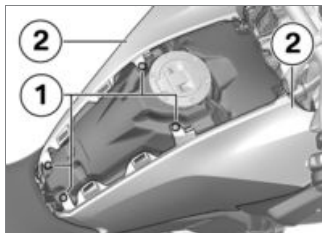
- 専門の整備工場
(BMW Motorrad ディーラーが理想的) にダストカバーの点検を依頼してください。

エアフィルターインサートを点検して、必要に応じて新品に交換する

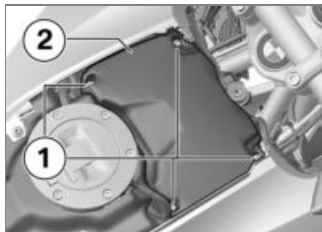


- リヤホイールスタンドを取り付ける(➡ 30)。
- Rallye シートを取り外す(➡ 14)。
- ボルト **1** および **2** を取り外します。

- センターフェアリングを取り外します。

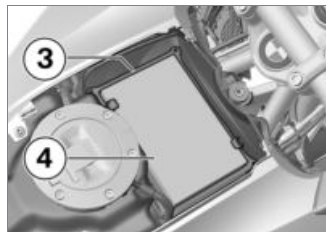


- ボルト **1** を取り外します。
- 両面のカバー **2** を外す。

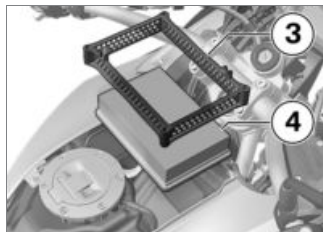


- ボルト **1** を取り外します。

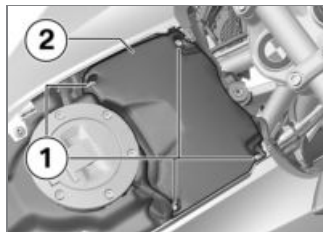
- エアフィルターカバー **2** を取り外す。



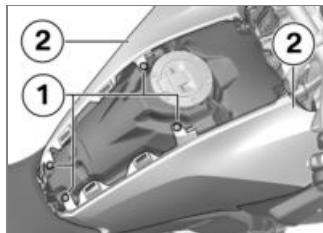
- フレーム **3** を取り外す。
- エアフィルターエレメント **4** を取り外す。



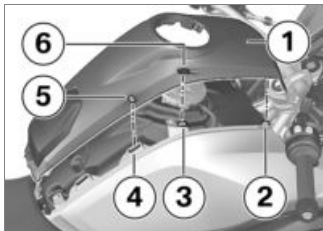
- エアフィルターエレメント **4** を清掃し、必要に応じて新品に交換します。
- エアフィルターエレメント **4** およびフレーム **3** をセットします。



- エアフィルターカバー **2** を取り付けます。
- ボルト **1** を取り付けます。



- 両面のカバー **2** を位置決めします。
- ボルト **1** を取り付けます。



- センターフェアリング **1** をあてがいます。
- 左右クランプ **3** と **5** をホルダー **4** と **6** へ押し入れ、その際、ラッチ **2** に注意します。



- ボルト **1** および **2** を取り付けます。
- Rallye シートを取り付ける(➡ 14)。

アクセサリ

一般的な情報	38
スタイルバリエーション Rallye のアクセサリ	38
スタイルバリエーション Rallye のアクセサリ	41
LED ウィンカー	42
ヘッドライトガード	42
ハンドルレバー(フライス加工) ...	42
ハンドプロテクター	43
エンジンプロテクションバー	43
Enduro エンジンアンダーガード ...	43
シリンダーヘッドカバーガード	44
調整式ライダー用フットレスト	44
調整式ブレーキペダル	44
スポーツマフラー	45
スパイクタイヤ	45

ナビゲーションシステム用取付けキット	45
ケースシステム	46

一般的な情報

**注意**

他社製品の使用

安全に関わる危険

- BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW 車両において安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、これは認められていません。それらのようなテスト / 点検では、常にBMW 車両におけるすべての使用条件を考慮に入れるということはできず、そのため部分的に十分でないところがあります。
- 必ず、BMW が BMW 車両用に承認している部品およびアクセサリ製品のみご利用ください。◀

部品およびアクセサリは、BMW により、その安全性、機能、適性に関する試験が実施さ

れています。これらの製品については、BMW が製造責任を保証いたします。承認されていない部品やアクセサリにつきましては、いかなる種類であれ、BMW は責任を負いません。変更を加える場合にはすべて、必ず法規制に従ってください。各国の道路交通法を遵守してください。

BMW Motorrad ディーラーは、皆様がBMW 純正部品、アクセサリ、その他の製品を選択されるにあたり、専門的なアドバイスをいたします。

アクセサリに関する詳しい情報については、以下を参照してください：

**[bmw-motorrad.com/
accessories](http://bmw-motorrad.com/accessories)**

**注意事項**

タンデム走行を行うには、常にパッセンジャー用フットレストとアシストグリップが取り付けられている必要があります。◀

スタイルバリエーションRallyeのアクセサリ

スタイルバリエーションRallye に合わせてBMW Motorrad が提供しているその他のオプションアクセサリで、R 1200 GS を使用目的およびライダーの個人的な好みに合わせてさらに個性的に装備することができます。

このオプションアクセサリの購入、取り付けおよびその他の情報については、担当のBMW Motorrad ディーラーに問い合わせてください。



スタイルバリエーション Rallye のアクセサリ

- 1 LED ウィンカー (■▶ 42)
- 2 スポーツスプリング (■▶ 16)
- 3 ハンドルレバー (フライス加工) (■▶ 42)
- 4 ハンドプロテクター (■▶ 43)
- 5 ナビゲーションシステム用
取付けキット (■▶ 45)
- 6 ヘッドライトガード (■▶ 42)
- 7 Enduro エンジンアンダー
ガード (■▶ 43)
- 8 エンジンプロテクション
バー (■▶ 43)
- 9 シリンダーヘッドカバー
ガード (■▶ 44)
- 10 調整式ライダー用フットレ
スト (■▶ 44)
調整式ブレーキペダ
ル (■▶ 44)
- 11 スパイクタイヤ (■▶ 45)
- 12 スポーツマフラー (■▶ 45)

LED ウィンカー



最新の摩耗のない LED 技術による、美しいバー状フォルムのウィンカー。



注意事項

ここに記載されている LED ウィンカーの取り付けは、米国およびカナダでは禁止されています。◀

ヘッドライトガード



オフロード走行で、ヘッドライトのカバーガラスを飛石から保護。
スナップロックシステムによる、簡単に素早い脱着。



注意事項

ヘッドライトガードはオフロード走行時にのみ使用してください。ヘッドライトガードを装着して公道を走行することは認められていません。◀

ハンドルレバー(フライス加工)



高強度アルミニウム合金をフライス加工したクラッチ / ブレーキレバー、腐食保護目的で灰色にアルマイト処理。
ハンドルレバーとハンドルグリップ間の間隔は個別に調整可能。

ハンドプロテクター



手および操作エレメントを、風や天候ならびにオフロード走行での茂み、低木、飛石から保護。

エンジンプロテクション バー



シリンダー周辺を損傷から効果的に防護。
ライダーが転倒した場合に、エキゾーストマニホールドのところで火傷を負うリスクの低減。

Enduro エンジンアンダー ガード



エンジン下部周りを飛石の衝突やバウンドの衝撃から保護。
標準エンジンアンダーガードより幅と長さを大幅に拡張。

シリンダーヘッドカバーガード



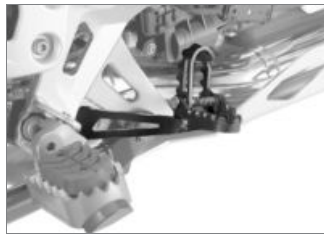
シリンダーヘッドカバーを引っかき傷や飛石による損傷から全体的に保護。
外側にプラスチック製スライダーガード、交換可能。

調整式ライダー用フットレスト



高品質な鍛造フットレスト、ゴールドカラー陽極酸化処理、3段階で高さ調節可能。
シッティング走行時に快適なスプリング効果をもたらす弾力性のあるステッププレート。スタンディング走行時には、ステッププレートは追加重量により完全に沈み込みます。このはっきりとした凹凸の輪郭によって保持がしやすくなり、ひいては車両の制御性が向上します。

調整式ブレーキペダル



フラップメカニズムにより高さ調節可能な、幅の広いブレーキペダル面。
スタンディング走行時の、フットブレーキの操作性と圧力配分の向上のため。

スポーツマフラー



パワフルなサウンドとスポーティなルックスのスリップオンマフラー。

総チタン製、エンドキャップおよびヒートシールドはカーボン製。

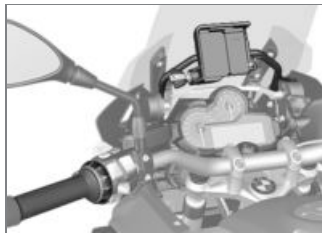
低回転域および中回転域におけるトルクの増加。

スパイクタイヤ



スパイクタイヤを走行モードEnduro Pro と組み合わせることで、オフロードでとどまるところを知らない推進力を得ることができます。

ナビゲーションシステム用取付けキット



主な構成要素：ナビゲーションシステム用ホルダー、ロックシリンダー付きAdvanced Mount Cradle、BMW Motorrad Navigator をハンドルバーで操作するためのMulti-Controller。

ケースシステム



オプションで入手可能なケースホルダーを使用して、堅牢でオフロードに適したアルミニウム製ケースを取り付けることができます。施錠可能であり、防水性と防塵性があり、外観面でもR 1200 GS の Enduro 性能を強調しています。

テクニカルデータ

フレーム	48
シャシー	49
ホイールとタイヤ	51
寸法	52

フレーム

フレーム型式	スチールチューブフレームとドライブユニット、 スチールパイプリヤフレーム
型式プレート的位置	左フロントフレームとステアリングヘッド
車両識別番号の位置	右フロントフレームとステアリングヘッド

シャシー

フロントホイール

フロントサスペンション型式	BMW テレレバー、上部フォークブリッジはアンチダイブ機能付き、トレーリングアームをモーターおよびテレスコピックフォークに設置、センタースプリングストラットをトレーリングアームおよびフレームに支持
フロントホイールサスペンションの構造	コイルスプリング付きセントラルスプリングストラット
－ Dynamic ESA ^{OE} 装備	コイルスプリングおよびリザーバー付きセントラルスプリングストラット、電気調整式プルおよびプレッシャステージショックアブソーバー
スプリングトラベル (フロント)	190 mm、ホイールで
－ スタイル 1 ^{OE} 装備	210 mm、ホイールで
－ スポーツスプリング ^{OE} 装備	
－ ロードダウン装備 ^{OE}	158 mm、ホイールで

リヤホイール

リヤサスペンション型式	鋳造アルミニウム製片持ち式スイングアームとBMW Motorrad Paralever
リヤサスペンション型式	コイルスプリング付きセントラルスプリングストラット、調整式リバウンドダンピングおよびスプリングプリロード
－ Dynamic ESA ^{OE} 装備	コイルスプリングおよびリザーバー付きセントラルスプリングストラット、電気調整式プルおよびプレッシャステージショックアブソーバー、電気調整式スプリングプリロード
スプリングトラベル (リヤホイール)	200 mm
－ スタイル 1 ^{OE} 装備	220 mm
－ スポーツスプリング ^{OE} 装備	
－ ロードダウン装備 ^{OE}	170 mm

ホイールとタイヤ

承認タイヤ	最新の認可タイヤの概要については、BMW Motorrad ディーラーまたはインターネット bmw-motorrad.com で見るすることができます。
タイヤ速度カテゴリー (フロント / リヤ)	V、少なくとも下記の値以上が必要: 240 km/h
フロントホイール	
フロントホイールの仕様	クロススポークホイール
フロントホイールリムサイズ	3.00" x 19"
タイヤサイズ (フロント)	120/70 R 19
タイヤ荷重指数 (フロント)	min 60
フロントホイールのアンバランスの許容値	max 5 g
リヤホイール	
リヤホイールの仕様	クロススポークホイール
リヤホイールリムサイズ	4.50" x 17"
タイヤサイズ (リヤ)	170/60 R 17
タイヤ荷重指数 (リヤ)	min 72
リヤホイールのアンバランスの許容値	max 45 g

タイヤ充填圧

タイヤ充填圧 (フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
タイヤ充填圧 (リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時

寸法

全長	2207 mm、スプラッシュガードを含む
全高	1430...1490 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
- スタイル 1 ^{OE} 装備	1312...1372 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
- スタイル 1 ^{OE} 装備 - スポーツスプリング ^{OE} 装備	1332...1392 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
- スタイル 1 ^{OE} 装備 - スポーツスプリング ^{OE} 装備 - タンデムパッケージ ^{OE} 装備	1450...1510 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
- ロードダウン装備 ^{OE}	1405...1465 mm、ウインドシールドを含む、下の位置、DIN 空車時
全幅	952 mm、ミラー含む
フロントシート高さ	850...870 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- コンフォートシート ^{OE} 装備	825...845 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- ハイコンフォートシート ^{OE} 装備	850...870 mm、ライダー非乗車時 (空車時)

ー フロントローシート装備 ^{OE}	820...840 mm、ライダー非乗車時(空車時)
ー スタイル 1 ^{OE} 装備	860 mm、ライダー非乗車時(空車時)
ー スタイル 1 ^{OE} 装備 ー エクストラハイシート ^{OE} 装備	880 mm、ライダー非乗車時(空車時)
ー スタイル 1 ^{OE} 装備 ー タンデムパッケージ ^{OE} 装備	850...870 mm、ライダー非乗車時(空車時)
ー スタイル 1 ^{OE} 装備 ー スポーツスプリング ^{OE} 装備	880 mm、ライダー非乗車時(空車時)
ー スタイル 1 ^{OE} 装備 ー スポーツスプリング ^{OE} 装備 ー エクストラハイシート ^{OE} 装備	900 mm、ライダー非乗車時(空車時)
ー スタイル 1 ^{OE} 装備 ー スポーツスプリング ^{OE} 装備 ー タンデムパッケージ ^{OE} 装備	870...890 mm、ライダー非乗車時(空車時)
ー ロードダウン装備 ^{OE}	800...820 mm、ライダー非乗車時(空車時)
ライダーステップアーチレングス	1870...1910 mm、ライダー非乗車時(空車時)
ー コンフォートシート ^{OE} 装備	1880...1900 mm、ライダー非乗車時(空車時)
ー ハイコンフォートシート ^{OE} 装備	1920...1940 mm、ライダー非乗車時(空車時)
ー フロントローシート装備 ^{OE}	1820...1860 mm、ライダー非乗車時(空車時)
ー スタイル 1 ^{OE} 装備	1880 mm、ライダー非乗車時(空車時)

- スタイル 1^{OE} 装備 - エクストラハイシート^{OE} 装備	1920 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- スタイル 1^{OE} 装備 - タンデムパッケージ^{OE} 装備	1870...1910 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- スタイル 1^{OE} 装備 - スポーツスプリング^{OE} 装備	1920 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- スタイル 1^{OE} 装備 - スポーツスプリング^{OE} 装備 - エクストラハイシート^{OE} 装備	1960 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- スタイル 1^{OE} 装備 - スポーツスプリング^{OE} 装備 - タンデムパッケージ^{OE} 装備	1910...1950 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- ロードダウン装備^{OE}	1790...1830 mm、ライダー非乗車時 (空車時)

あ

アクセサリ, 38

う

ウインドシールド
調整する, 16

え

エアクリナー
インサートの点検、新品交換, 34

エンジンアンダーガード
取り付ける, 27
取り外す, 26

き

記号と意味, 4

さ

サイドスタンド
スイッチの点検, 33
点検, 33
サスペンション
テクニカルデータ, 49

し

シフトレバー
点検, 33
仕様(諸元)
規格, 5
サスペンション, 49
寸法, 52
フレーム, 48
ホイールとタイヤ, 51

す

寸法
テクニカルデータ, 52

そ

装備, 5

た

タイヤ
最高速度, 23
充填圧, 52
タイヤ空気圧を点検する, 31
テクニカルデータ, 51
トレッドの溝の深さを点検する, 31, 32

だ

ダストカバー
点検, 34

ふ

ブレーキペダル
点検, 33
フレーム
テクニカルデータ, 48
フレームガード
取り付ける, 15

ほ

ホイール
スポークを点検する, 32
テクニカルデータ, 51
ホイールリムを点検する, 32
本書の記述について, 5

め

メンテナンス
一般的な情報, 30
オフロード走行後, 33

ら

ラゲッジラック
取り付ける, 19
取り外す, 18

ラゲッジラックシーリング

キャップ

取り付ける, 18

取り外す, 19

ラジエター保護グリッド

取り付ける, 26

取り外す, 25

Rallye シート

高さ調整, 14

取り付ける, 14

取り外す, 14

リ

リヤホイールスタンド

取り付ける, 30

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリー、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリーなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

© 2017 Bayerische Motoren
Werke Aktiengesellschaft
80788 München, Germany
本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。
オリジナル Rider's Manual、
Printed in Germany

BMW recommends ADVANTEC
ORIGINAL BMW ENGINE OIL

